

審議会等会議録

審議会等の名称	平成 27 年度第 1 回山口市立図書館協議会
開催日時	平成 27 年 5 月 21 日（木曜日） 15：00～17：00
開催場所	山口市役所別館 会議室
公開・部分公開の 区分	公開
出席者	安光会長、吉村副会長、糸長委員、大野委員、重枝委員、田坂委員、田澤委員、中村委員、原田委員、藤川委員、岡田委員、児玉委員
欠席者	なし
事務局	中央図書館長、小郡図書館長、秋穂図書館長、阿知須図書館長、徳地図書館長、阿東図書館長、中央図書館館長同格、中央図書館管理担当主幹、中央図書館サービス担当主幹
議題	1 報告事項 （1）平成 26 年度山口市図書館運営状況報告 （2）平成 27 年度山口市図書館重点事項 （3）各館の平成 26 年度事業実績と平成 27 年度事業予定
内容	〇事務局 ただいまより、平成 27 年度第 1 回山口市立中央図書館協議会を開催いたします。まず、中央図書館長より、各委員に委嘱状の交付をいたします。 （委嘱状交付） （各委員より自己紹介） 〇事務局（中央図書館長） まず、図書館協議会の位置づけを説明いたします。この図書館協議会は、図書館法に基づく協議会でございます。山口市立図書館条例及び条例施行規則で設置、運営をされるものでございます。 各図書館の運営に関し、館長の諮問に応じるとともに、図書館の行うサービスについて意見を述べる機関でもございます。 委員の任期は、平成 27 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの 2 年間でございますので、どうぞ皆さんよろしくお願いを申し上げます。 それでは、本市の現状についてです。山口市の市立図書館は 6 館ございまして、現在、「日本一本を読むまち」を目指しており、図書館サービス計画が平成 24 年度から 29 年度まで、それから子ども読書活動推進計画が平成 25 年度から 29 年度までと期間を区切り、これに基づいて事業の推進をいたしております。 私は、図書館は広い意味で、地域社会、経済、そういったものの振興のため、行政を含めました地域住民のサポーターだと思っております。一つのメディアとして情報の提供者、発信者であると思っております。そういう意味で、単に利用されるのではなく、活用される図書館を目指すということで、今、私の思いで進めております。

また、情報化、デジタル化の中で、図書館を取り巻く環境というものが昔とは変化をいたしております、世の中の動きや変化も加速化しております。

その中で、これからの図書館の役割、存在意義は何かが問われているのではないかと感じておりまして、従来の図書館の良さを更に充実するとともに、時代の変化や地域活性化への対応が求められているのではないかと感じております。

現在、国におきまして地方創生が提唱されております。これは地方が主体的に我が国の成長戦略の一翼を担い、それぞれ地方の魅力や多様性を発揮することで、将来にわたり活力ある日本社会を維持することを目的といたすものでございます。

この山口市の戦略推進会議が先日、18日の月曜日に開催をされたところでございます。まさしく、今の山口市の課題そのものであり、図書館といたしましても、その趣旨の理解をし、活力ある山口の社会を創生するためのサポーターとして大きな役割を果たしたいと考えております。

1市5町の合併から10年を経過いたしました。また、中央図書館は、建設をして12年目を迎えます。地域図書館についても、5館が整備をされたところでございます。この時期にあたりまして新たな視点を持って、こうした課題に取り組んでまいりたいと思っております。

本日は、報告事項が3件ございます。その他ということで時間を設けておりますが、時間が許す限り、皆様の忌憚のない御意見をいただければと思っております。どうぞよろしくお願いをいたします。

○事務局

それでは続きまして、図書館の事業推進の基本となるサービス計画と子ども読書活動推進計画について、簡単に御説明いたします。

まず、山口市は「日本一 本を読むまちづくり」を進めております。当然図書館がその中で中心的な役割を果たす必要があるわけですが、具体的には市立図書館サービス計画、それと子ども読書活動推進計画に沿って諸施策を進めておるところでございます。

現在、第二次計画のちょうど中間点になります。この第二次山口市立図書館サービス計画では、目指す図書館の姿として、「どんな時も 身近に役立ち 出会いを大切にする図書館」を掲げているところでございます。

これを実現するために、基本目標を3つ定めております。1つ目が、地域を支える情報拠点として市民に役立つ図書館、2つ目が、次代を担う子どもの育成を支援する図書館、3つ目が、出会いを大切にし、市民とともに心豊かな人づくりをめざす図書館でございます。

このサービス計画については、平成29年度までの6年間を期間としているわけですが、この間に重点的に取り組む事業としては5つ上げております。

まず図書館システムの一元化、実はこれについては昨年度終了したところでございます。それから、2番目が移動図書館サービスの充実、3番目が学校図書館

支援サービスの拡充、4番目が地域資料サービスの充実、5番目が阿東地域の図書館サービスの充実でございます。ちなみに、阿東図書館については一昨年の8月に新築移転開館を行ったところでございます。

サービス計画、大まかにはこういったところでございます。

次に、子ども読書活動推進計画でございますが、事前にこの水色の表紙の資料をお配りしているかと思えます。この子ども読書活動推進計画は、現在、第二次計画の途中でございます。第二次計画では、この推進計画の冊子の11ページにございますが、「めざす姿」として、「子どもたちは本が大好きで、たくさんの本に囲まれて、自ら進んで読書をしています」という姿を目指しておるところでございます。

これを実現するために4つの基本方針を定めているのですが、それが冊子では12ページにございますが、まず発達段階に応じた読書活動の充実、2番目に、読書環境の整備・充実、3番目が、広報と啓発活動の推進、4番目に、地域全体での取組の推進という基本方針を定めております。それぞれの方針の中では、目標を定めて取り組んでいるところでございます。山口市立図書館には、以上のような計画のもと、諸施策を進めているところでございます。サービス計画も子ども読書活動推進計画も、平成29年度までということで、そこが一つの区切りになるかと思えます。

また、御質問等、もしございましたら、後ほど、その他のところで御質問いただきたいと思います。

それでは続きまして、この4月から新しい任期が始まりましたので、改めて会長及び副会長の選任をお願いしたいと思います。

会長、副会長については、山口市立図書館条例施行規則第23条により、委員の互選によって定めることとなっております。皆様の中から、自薦、他薦等を含めて、御意見等ございませんでしょうか。

○委員

事務局案があればお願いします。

○事務局

今、事務局案というお話がございましたが、何か皆様のほうからほかにございますでしょうか。

(意見なし)

それでは事務局といたしましては、これまでとの継続性の観点もでございます。会長に、安光委員、副会長に吉村委員をお願いできたらと考えているところなのですが、皆さんいかがなものでしょうか。

(拍手多数)

はい、ありがとうございます。それでは、ただいまの拍手をもちまして、会長は安光裕子委員、副会長は吉村誠委員で御承認いただいたということでよろしくお願ひいたします。

それでは、条例施行規則第24条により、会長が議長となりますことから、ここからは安光会長に議事進行をお願いいたしたいと思います。それと、会長、副会長は、席の移動をお願いいたします。

それでは、安光会長、よろしくお願いいたします。

○会長

それでは、御指名いただき、お認めいただきましてありがとうございます。山口県立大学の安光裕子でございます。それでは、会議を進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。また、副会長からお願いします。

○副会長

今回また副会長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○会長

それでは、これからは議事進行を、私のほうでさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本日は、報告事項は3項目でございます。報告事項の、平成26年度山口市立中央図書館運営状況報告、それから27年度重点事項及び平成26年度事業実績と27年度事業予定となります。

事務局から説明をしていただき、その後に各館長に5分ずつということで、地域館の26年度の事業実績と27年度事業予定報告ということで、よろしくお願いいたします。それでは、事務局からまずお願いいたします。

○事務局

それでは、事務局から26年度と27年度の全体的なこと、それから重点事項について、まず御説明したいと思います。

では、まず26年度山口市立中央図書館運営状況について、実績数値を中心に御報告させていただきます。

まず、貸出点数ですが、平成26年度貸出点数については、145万1,913点ということで、昨年度よりわずかに0.7%の減少ということになっています。これは市立図書館全体、6館での数字でございます。

それから、入館者数については71万3,411人ということで、こちらも前年度比4.8%の減少ということになっております。

蔵書冊数については65万9,424冊ということで、25年度より4.6%増えています。

よく市民1人当たりの年間貸出点数を、全国の図書館で指標として使ったりするのですが、こちらについては、26年度は7.49になります。25年度は7.53でございました。人口もわずかに減少しているのですが、貸出しも減少ということで、1人当たりについてはわずかですが、減少しているところでございます。

その他、少しトピック的に説明いたしますと、全体的な管理運営に関しましては、開館日数が26年度は6館延べで1,644日になっております。25年度よ

り増えておりますが、これは、25年度は阿東図書館が8月まで休館いたしましたので、少なかったということになります。

それから、貸出し、入館とも減っているのですが、予約・リクエストについては、これはずっと増加傾向でございまして、26年度も増加しております。年間で18万1,610の予約を受けており、25年度より1%増えております。

それから、ブックスタートに関しましては、ブックスタートパック贈呈率という指標で見ますと、85.1%ということで、昨年度よりかなり増えております。

それから、子ども読書という項目になっておりますが、こちらは主に行事の開催等でございます。こちらについては、26年度、行事をたくさんしてございまして、行事の参加者数も増えております。ということで、18歳以下の市民参加率で見ましても、かなり高くなっているところでございます。

それから、移動図書館についてですが、サービスステーション数を25年度より、よりサービスを充実させるということで3カ所増やしております。それに伴いまして移動図書館貸出冊数も2万8,218冊ということで、昨年度より4.7%増えているところでございます。

しかし、その利用者数を見ますと、9,413人ということでわずかながら、2.1%ですが、前年度より減っているところでございます。1人当たりの貸出点数が増えたのかなというところでございます。

それから、学校図書館支援でございます。ここで、学校図書館支援については団体、学校への配送の数字になっているのですが、その団体貸出利用冊数については3万7,726冊ということで、昨年度より2.3%増えているところでございます。学校図書館の1人当たり貸出冊数については、26年度は、25年度と同じ31でございます。

それから、図書館の活用という部分に関しては、行事をたくさんやりまして参加者数が増えているというところがあるのですが、山口市民の図書館利用カード登録率がどのくらいかということで見てみますと、26年度の実績で48.2%、25年度よりかなり伸びているところでございます。

4ページに館別の指標を、主なものだけ載せております。貸出点数については、中央、小郡が昨年度より減っておりますが、秋穂、阿知須、徳地、阿東については、25年度より増えております。

入館者数については、中央が1割減という部分がありまして、秋穂もわずかに減っておりますが、ほかの館については増えております。特に、徳地、阿東は大きく増えております。

蔵書冊数については、当然どんどん新しい本を買ってまいりますので、増えるのが当然ではあるのですが、ごらんのように、中央図書館では37万7,000冊余りの蔵書、小郡については9万2,000冊余り、秋穂については3万5,000冊余り、阿知須が5万8,000冊余り、徳地が6万冊余り、阿東図書館が3万5,000冊余りの蔵書サービスとなっております。

開館日数についてですが、全館延べでは大きくふえているのですが、これは、阿東が25年度に開館準備のために休館したということがございまして、阿東の日数が増えたことが大きく影響しております。

ただ、ほかの館については減っておりまして、これは昨年度システムの更新に伴いまして1週間休館いたしましたので、これが影響しているところでございます。ちなみに、阿知須が2日ほど増えているのですが、これは実は阿知須図書館では、システムの休館期間中に蔵書点検をやりまして、つまりほかの館については蔵書点検の休館期間とあわせてシステムの休館期間があったのですが、阿知須についてはそれが重なったということで、このような結果になっているところでございます。26年度の全体的なところについては、以上でございます。

それでは、平成27年度の山口市立図書館の重点事項について御説明いたします。

市立図書館では、先ほどの図書館サービス計画、子ども読書活動推進計画に沿って図書館の運営を行っているところですが、平成27年度につきましては、年度の重点項目をつくるということで、重点事項を決めております。それを5ページに資料として載せております。

平成27年度の重点テーマは、新規利用層の開拓でございます。

入館者数、貸出しとも、わずかずつではあるのですが、少しずつ近年減少傾向が全体としては見られます。

ただ、予約件数についてはどんどん伸びている状況で、利用者の固定化が進んでいるのではないかとということもございまして、新たな利用層の開拓をテーマにしようということでございます。

その重点テーマ実現のための方策として、3つの柱を立てております。

まず、1つ目が、市役所内部での連携強化、2つ目の柱が、将来へ向けた対応の実施や課題の調査研究、3番目の柱が、上記を支える業務執行体制の充実でございます。

市役所内部での連携強化という1つ目の柱ですけれども、これについては、多様な市民を対象とする他部署の施策と連携することで、多様な市民層へアプローチをしていくということでございます。

市役所については、いろいろな多種多様な施策を行っております。その施策の対象は全て市民の方なのですが、いろいろな市民の方がいらっしゃいます。その市民の方へ向かって、いろいろな施策をしているわけですが、図書館を今まで利用いただいている方は、もしかしたら市民のある一部の方ということも言えるかもしれないということで、そのほかの層の市民の方へアプローチする施策を行う他の部署と連携することで、図書館をいろいろな方に知っていただくことができるのではないかとこの考えをいたしたところでございます。

この市役所内部での連携強化の具体的なこととしては、まず行政向けレファレンスの実施、まず市役所内でどんなレファレンスニーズがあるのかというのを洗

い出して、それに対応していくということをしたいと考えております。

それから、ほかの部署の施策と連携した講座等の実施。ほかの部署の施策に図書館を活用してもらおうということでございます。具体的な講座等については、既に終わっておりますが、5月5日にこどもワイワイ図書館というのをやっております。また、同日、青空天国いこいの広場というイベントが維新公園で開催されましたが、社会教育課の所管ですが、これに移動図書館車を派遣するなど連携をいたしております。

それから、6月5日にはウォーキング教室というのをやることにしております。健康増進課が、その健康増進の観点からウォーキング教室をするのですが、それについて図書館とコラボレーションしていこうということでございます。

それから、昨年度やまぐち歴史講座という企画を、文化財保護課と連携して行ったところでございます。たくさんの方に御来場をいただいたのですが、27年度についても、冬以降になるかと思いますが、このやまぐち歴史講座をしたいと考えております。

それから、初めの中央図書館長のお話の中にもあったのですが、現在、本市では、山口市まち・ひと・しごと創生戦略というのを立てているところでございます。これとも関連した講座を図書館でやっていけたらと考えているところでございます。

それから、サービス計画の重点事業の中にもございました学校図書館支援サービスでは、学校教育課とより連携をとることで、もっと学校図書館の支援ができるのではないかとということで、学校教育課と連携した形で事業を進めていけたらと考えております。

重点テーマ実現のための方策の2番目、将来へ向けた対応の実施や課題の調査研究、社会状況の変化に応じた図書館サービスの研究をしていこうということでございます。社会状況の変化に応じて図書館サービスも変わっていく必要があるのではないかとということで、この社会状況の変化に応じた図書館サービスを行うことで、新たな図書館利用者方が開拓できるのではないかとということでございます。

まず、具体的には地域資料の重点収集、地域資料については市立図書館としてある意味、根源的な役割ということが言えるかもしれません。地域資料の重点収集について27年度は重点的にやっていきたいと考えております。

それから、2番目、大学図書館の返却箇所化実現、山口大学総合図書館、それから山口県立大学図書館を市立図書館の本の返却場所として実現することができないかということで、昨年度から大学と折衝を進めているところではあるのですが、これを27年度は実際に実現したいと考えております。

それから、中央図書館夏季時間延長試行、昨年度、中央図書館のみ7、8月の土日祝日、開館時間の繰り下げをしております。5時のところを7時まで延ばしております。これについては、余り利用者数の伸びとかは具体的に見られなかつ

たのですが、なかなか評価の難しい点はあったのですが、27年度も実際にやってみて、その2年の結果を踏まえて、実際に本格実施するかどうかについて、また答えを出したいと考えているところでございます。

それから、図書館デジタル化に関する研究、マイナンバー対応含む、ということで書いておりますが、昨年度図書館デジタル化に関する調査研究というのをやっております。今年度はそれを具体的にどういうようにサービスに落とし込んでいくのかという点についてですが、今マイナンバー制度というののもいよいよ始まることになっております。これとも関連させた形で、実際の実現に向けてどういうようにしていくのかというのを研究していきたいと考えております。

それから、高齢化に対応する中山間地でのサービスの検討、移動図書館車だけでなく、既存の公共資源を活用したサービス提供の可能性ということで書いておりますが、現在、移動図書館車については、特に阿東、徳地地域については重点的に回っているという部分があるわけなのですが、もっとほかの公共資源を活用してサービス提供ができないかという観点も含めて、研究を進めていけたらと考えております。

それから、次に移動図書館の位置づけ研究、次期サービス計画に向けて、と書いておりますが、これは、現在のサービス計画により、移動図書館車を図書館から遠い地域の方への図書館サービスの提供という観点で動かしておるところでございます。

しかし、移動図書館についてはもっとほかの観点からの活用もできるのではないかとことも考えておりまして、移動図書館をどういうように山口市立図書館として、市立図書館の中のどういうように位置づけようかという点について、これは次期サービス計画では、この移動図書館の位置づけというのは一つのポイントになるのかなと考えておりまして、この点の研究を進めていけたらと考えております。

重点テーマ実現のための方策、3番目の柱が上記を支える業務執行体制の充実、業務執行体制を充実させるために、まず「日本一 本をよむまち」推進会議というような組織を設置できないかと考えております。これは市役所内の各関係部署の連絡会議ですが、市役所内部の連携強化を図るという関連からも連絡会議の設置の検討をし、より連携を深めていきたいと考えております。

それから、統計分析の業務活用、今までも当然統計データをとっているところでございますが、それを実際に活用してサービスに生かすというところまではいっていないのが現状でございます。これをしっかり分析して、実際の業務に活用していくようにしたいと考えております。

それから、企画事業実施体制の工夫、一昨年、昨年度と、特にいろんな行事等を積極的にやっているところです。

しかし、実際に行事を動かすということについては、かなり体制的にきつい部分がございます。通常の図書館サービスを提供しながら行事をやっていくという

ことで、どういうようにやっていくのかという実施体制の工夫がさらに必要だと考えております。

それから、次に職員の人材育成、積極的な研修、でございます。具体的には、これまで非常勤職員の方については基本的に研修参加というのはございませんでした。今年度については、非常勤職員の方も含めて、積極的に研修に派遣しようということで考えております。

それから、ボランティアの育成、市民協働の観点からも、ボランティアの育成をどんどん進めていこうというところでございます。

表のほうには、4番目に、その他、27年度中に対応すべき事項というのも書いておりますが、この点については、27年度の単発的なもので、事務的な部分ですが、載せているところでございます。以上が平成27年度の重点事項でございます。

○会長

資料に記載のある、中央図書館BDS更新という部分について説明をお願いします。

○事務局

中央図書館BDS更新についてですが、BDSはブックディテクションシステムといって、盗難防止が一つの目的の機械です。中央図書館の入口のところにゲートがあるのは御存じかと思います。そのことなのですが、BDSを本の貸出処理をせずに持って通りますと警報が鳴るようになっております。そのような機械があるのですが、開館から12年を過ぎまして、これの更新が必要だということでございます。

○会長

わかりました。

○事務局

以上が重点項目でございましたが、では平成27年度に具体的にどういうことをするのかということについては、7ページに予定を載せております。

各館のことについては、後ほど各館長より説明いたしますが、全体的なことについて説明してまいります。

まず、ブックスタートボランティア養成講座、それから読み聞かせボランティア養成講座、これらは26年度もやっておりますが、27年度もする予定にしております。

それから、子ども読書活動の「好きなおはなしの絵」の公募、これは既に出しているところでございます。

学校図書館支援事業についても、各学校への配本事業を引き続き行います。

それから、「本はともだち」の作成配布も行っています。

それから、行事ですが、5月5日に実施いたしました、こどもワイワイ図書館です。これは初めての試みなのですが、山口市立図書館6館全体で、5月5日、

これまで地域館は休みのところが多かったのですが、27年度については5月5日、全館を開館して、一緒に行事を。イベントを組もうということでやっております。子供を対象に、子供がわいわい楽しむようないろんな企画をしたところでございます。この中で、FM山口とコラボレーションした企画も、26年度に引き続いて、27年度も行いました。

この5月5日のワイワイ図書館の件については、8ページに数値等の資料を載せております。各館で、ごらんのような行事・講座等をやっております。入館者数の大幅な増加という形にはつながりませんでしたが、お越しいただいた方には楽しんでいただけたと思っております。この点について、また委員の皆様にも後ほどぜひ御意見、御感想等をお聞かせいただけたらと思います。

26年度、27年度、全体的には以上でございます。それでは、続きまして各館のことについて、中央図書館からご説明いたします。

○事務局（中央図書館長同格）

中央図書館の平成26年度実績と平成27年度の予定につきまして、御説明いたします。

まず、平成26年度実績についてですが、蔵書点検を3月3日から10日まで、1週間休館して実施いたしております。これは円滑な図書館サービスの実現のために年に一度、蔵書目録と実際に書架にある蔵書の照合確認作業を行うものでございます。

まず、1週間の休館中に、書架の下等に入ることにより不明本となっている本を探しながら、書架にきちんと本を並べまして、本当にどれが不明本なのかを追跡し確定させます。図書館利用者サービスのためにとっても大切な作業でございます。

次に、7月、8月の土日祝日の閉館時間の延長でございます。これは、「夕涼みプラス2」というキャッチフレーズを掲げまして、通常の7、8月の土日祝日は17時で閉館なのですが、昨年度は2時間延長し、19時閉館といたしまして、平日と同じようにする試みを行っております。例年7月、8月は、1年間のうちで一番来館者も多い時期なので、暑いこの時期に、お祭り等もございまして、夕涼みがてら図書館を利用していただく企画を実施いたしております。残念ながら昨年は、7月、8月に台風の襲来なんかもあり、雨が多い不順な天候でもございまして、前年度よりは、7、8月、入館者が減少しておりますが、土日祝日の入館者減については、この企画で少しでも打ち消す効果があったのではと分析いたしているところでございます。この企画については、本年度も引き続き行ってまいります。

次に、子ども読書活動推進事業として、「好きなおはなしの絵」の展示を行っております。この企画は、春のこども読書週間、に合わせまして、市内の小学生、幼稚園、保育園児に好きなお話の感想画を書いて提出していただきまして、それを6月から11月まで、中央図書館では1週間という期限を決めまして、順次図

書館内の掲示スペースに張り出して展示いたしております。自分の絵が出ているときには親子連れでご覧になりに来られることも多くありますし、この企画は子供たちが本を読むきっかけづくりになる事業として開館当初から定着している事業でございます。

次に、「ぴよぴよおはなし会」、これは幼児向けのおはなし会でございます。毎週水曜日に開催いたしております。おはなし会は5歳以上の子供向けでございます。毎月第1日曜日に開催いたしております。合わせて年間約2,000名弱の参加がございました。

また、毎週土曜、日曜日に子ども向けの上映会をYCAMの2階のCスタジオで行い、82回の開催で延べ1,300人余りの参加がございました。

次に、学校図書館支援事業についてでございますが、中央図書館では小中学生の職場体験受け入れを昨年度は14人、延べ17日間、大学生のインターンシップの受け入れは6人、延べ13日間行っておりまして、仕事としての図書館サービスの役割を体験していただいております。

また、夏休みのブックトークイベントを中央図書館で実施し、59人の小学生にブックトークを体験してもらっております。

それと、市内各学校から中央図書館に対しブックトークの依頼がございますが、昨年度は9校から依頼がございました。これは司書が直接学校に出向きまして、延べ32日間ほどブックトークを実施いたしております。

次に、行事で主なものを御紹介いたします。

図書館まつりを11月15日に開催いたしまして、約1,700名の方に御参加いただいております。主な企画として、昨年は「疎開した40万冊の図書」という上映会を実施いたしました。あと他館と同じようにブックリサイクルとか、いろいろな行事を行っております。

次に、大人向けの上映会を毎週月曜日に40回開催し、約1,000名の方に鑑賞していただいております。これもYCAMのCスタジオで開催しております。

次に、FM山口とのコラボ企画といたしまして、昨年6月21日にYCAMのスタジオAを使いまして、「読書とラジオ～あなたの暮らしの中に～」というテーマを決めて、おなじみのFM山口のパーソナリティー4人による読み聞かせやパーソナリティーのお薦めの本の紹介を行っております。

小学生以上の親子向けの1部と大人向けの2部の読み聞かせのイベントは、延べ約270名の多くの方にお越しいただきました。この企画の前後にFM山口の放送の中で、中央図書館とコラボして読み聞かせを行うという発信を各パーソナリティーからしていただきまして、思わぬ市立図書館のPRとなった企画でございました。この企画のような形のイベントというのは、多く市民にアピールできた企画であり、パーソナリティーという市民の憧れの存在の方のお薦め本の展示も好評でございました。

また、児童文学作家でございます村中李衣さんの「読みあいワークショップ」

を10月に、また絵本作家の「武田美穂さんとキラキラクリスマス飾りを作ろう！」の企画を12月に開催いたしまして、多くの参加者を集めております。

次の、YCAMの「ザ・クワイエット・ボリューム」という企画は、ちょっとこれは何だろうと思われるかもしれませんが、これはイベントに参加される方自身が体験型演劇作品の俳優となりまして、ヘッドホンをつけて、2人一組なのですが、そのヘッドホンから流れる声に従いまして、図書館内のテーブル上で、与えられた本を読みながら、2名一組で一緒に体感し関係性を感じながら、本を読むという体感を通して自分自身を見つめ直すという、不思議な体験をもたらすYCAMの画期的な企画でございました。2週間で約176名の方が体感されております。マスコミにも多く取り上げられ話題になっております。

また、ビジネス支援として、政策金融公庫とのコラボ企画といたしまして、女性に対する女性創業セミナー「図書館で夢をカタチにしてみませんか」という企画を行っております。起業に成功された女性講師の実体験を中心にしたセミナーでございまして、参加者は34名と少なかったのですが、市民に役に立つ図書館という、図書館のキャッチフレーズどおり、ビジネス支援としては実体験に基づく内容の濃いものであり、役に立つ企画であったと思っております。

そして、昨年度、図書館が一番力を入れた取り組みが、先ほども言っておりましたけども、やまぐち歴史講座と、これに付随する幕末小説人気番付の企画でございまして。この企画は、平成30年の明治維新150年を3年後に控えまして、またちょうど「花燃ゆ」の放映が始まりましたので、市立図書館と歴史民俗資料館がこの時期を捉えて、共同で図書館資料の上映会と歴史講演をセットにしたやまぐち歴史講座を1月から3月にかけて実施いたしました。

また、関連企画として、12月から2カ月間、好きな幕末小説を全国から募集いたしまして、その結果を番付にして発表する「山口発！『幕末小説人気番付』」という企画を実施いたしました。その結果、歴史講座のほうは3回で1,100名以上の方に参加いただき、大変好評でございました。

そして、人気番付の企画については、全国では北海道から鹿児島まで、35都道府県から804票の投票をいただきました。この企画によりまして、これまで図書館を利用される機会の少なかった方への図書館利用の推進と、ふるさとの歴史を知るという読書のきっかけづくりができたのではと思っております。このデータは図書館でのレファレンス資料として使っていこうと思っております。

最後に、2月、3月には、今全国でも盛んになっておりますビブリオバトルの開催や、お楽しみ袋企画として、図書館員のお薦めの本を入れた、企画も実施しております。

次に27年度の予定でございまして。本年度は、新たに図書館活動推進事業を立ち上げて、「日本一 本を読むまち」の実現に向けまして、図書館利用層の拡大を図ってまいります。そのために、今まで利用が少なかった市民も含めまして、多くの市民に図書館を利用していただくための諸事業を展開してまいります。

蔵書点検や例年行っている事業は継続性もございますので、同様に行っていくとともに、中央図書館では7、8月に「夕涼みプラス2」の2回目の試行を行います。

中央図書館での本年度の事業として、他部署との施策の連携により、イベント講座や企画展示等を企画してまいります。そして、多様な市民を対象とする他部署の施策と連携することで、新規利用者の獲得を目指していこうと考えております。

昨年度に引き続き、FM山口やYCAMとの連携を行うとともに、市役所内での連携といたしまして、5月5日は、先ほど申しました、ワイワイ図書館を開催いたしまして社会教育課との連携を行いました。

また、今月末の「景観の日」に関する都市計画課の山口市景観シンポジウムとの関連企画展を、5月31日前後で行ってまいります。この企画は、景観をキーワードといたしまして、図書館としては、図書館員が選書した企画展示コーナーを設置いたします。

また、6月5日は、健康増進課の健康づくり関係事業と連携した、ウォーキング教室を計画いたしております。図書館からは、食と運動に関する豆知識の紹介と中央図書館での関連図書の企画展示を行う予定といたしております。

このように、本年度は、他部署に対し図書館利用の可能性を知ってもらい、他部署の事業と連携していくことで、新たな図書館利用層の拡大を図っていきたいと考えております。

以上で中央図書館の26年度実績と27年度予定の説明を終わります。

○事務局（小郡図書館長）

それでは、続きまして小郡図書館の平成26年度の実績と27年度の予定について御説明をさせていただきます。

資料に基づいてでございますが、図書館の管理運営業務といたしまして、まず蔵書点検を2月3日から10日まで蔵書点検を実施いたしております。

また、25年に「小郡図書館100年のあゆみ」ということで展示を行いました。それを受けまして「小郡図書館100年のあゆみ」ということで、記念誌の発行を、小郡図書館友の会「鉢の子」の編集によりまして、11月3日の図書館まつりに合わせて発行をさせていただいております。

次に、子ども読書活動推進事業でございますが、先ほどもございました「好きなおはなしの絵展示」を6月末から7月にかけて毎週展示をさせていただいております。

また、「みんなのおはなし会」を第2水曜日、11回行いまして、193人の参加を見ております。

「4さい以上の子のためのおはなし会」、これは9月までこういう名称で、10月からは「4さい以上からのおはなし会」という名称になりましたが、合わせまして第3水曜日に12回、113人の参加をいただいております。

	「赤ちゃんのためのおはなし会」については、第4水曜日に行いまして、計10回、400人の御参加をいただいております。 また、折り紙教室につきましても第4水曜日の午後、15時40分からですが、10回の170名の参加をいただいております。 学校図書館支援事業につきましては、中高生の職場体験の受け入れということで、中学生、高校生、7人を延べ11日間受け入れております。 行事といたしましては、図書館まつりは例年どおり11月3日に実施をいたしまして、先ほど申しました100周年の記念誌の発行とあわせて、955名の来館者を見ております。 行事につきましては、ここに書いておりますが、ほとんど「鉢の子」の主催という形でお願いをいたしておりますが、まず5月18日に「ふるさとを撮る 映像で語る」ということで、ここにいらっしゃる大野委員さんを講師にお招きいたしまして、DVDの上映会とあわせて、19人参加で実施をいたしております。 6月14日には『赤毛のアン』を読み直す」ということで、35名の参加をいただいたところでございます。 7月19日には、夏休みの子供の工作ということもありまして「ソーラーカーをつくりましょう」ということで、22人の御参加をいただいております。 12月21日には、第2回ビブリオバトルということで、30人の参加で実施をさせていただきました。 2月14日につきましては、科学講座ということで、「火山噴火と災害」ということで37人の参加をいただいております。 また、3月15日には、これは小郡文化資料館のお世話をいただきまして、「小郡の明治維新」ということで77人の参加をいただいております。 広報活動といたしましては、ティーンズだよりを隔月、図書館だよりを毎月発行いたしております。 平成27年度の予定といたしましては、例年どおりの事業でございますが、蔵書点検を2月に同じくやりたいと思っております。 また、子ども読書活動推進事業につきましても、「好きなおはなしの絵展示」、今回若干枚数が多かったもので、6月末から10月末をめどに実施をさせていただこうというふうに思っております。 「みんなのおはなし会」を第2水曜日、「4さい以上からのおはなし会」を第3水曜日、「赤ちゃんのためのおはなし会」を第4水曜日、折り紙教室を第4水曜日ということで、例年どおり実施をしていきたいと思っております。 また、学校図書館支援事業につきましても、職場体験・インターシップの受け入れを、それぞれ随時受け入れてまいりたいと考えております。 図書館まつりは例年どおり11月3日に実施をし、ぜひたくさんの方の御来館をいただきたいと思います。 ただ、行事につきましては、これは小郡図書館友の会「鉢の子」の総会が6月
--	---

7日に開催されますので、その中で「鉢の子」さんと一緒にいろいろなと主催できたらと思っています。ぜひ多く方に来館いただけるような行事予定を企画してまいりたいと思っています。

広報活動につきましては、ティーンズだよりと図書館だよりをあわせて例年どおり配布をしてまいりたいと思っています。

小郡図書館からは以上でございます。

○事務局（秋穂図書館長）

では、秋穂図書館より説明をさせていただきます。

まず、図書館管理運営業務といたしまして、蔵書点検を6月に行いました。

子ども読書活動推進事業といたしまして、「好きなおはなしの絵」の展示を6月から7月にかけて行っております。

また、入館者20万人を7月1日に達成いたしました。3年と11カ月をかけてまして20万人を達成しており、これからもたくさんの方に来ていただきますよう、努力をしていきたいと思っています。

それから、「よちよちだっこのおはなし会」を第1水曜日、また「わくわくおはなし会」を第3水曜日に行いまして、合計21回、293人の来館をいただいております。

それから、学校図書館支援事業といたしまして、中学生の職場体験を受け入れまして、秋穂中学校の1名の方に来ていただいております。

それから、行事といたしましては、8月2日の土曜日に図書館まつりを行いまして、交流センターと図書館を使って行うわけでございますが、961人の来館者がありました。交流センターを主に使う関係で、図書館のほうには入っていただけないお客さんもいらっしゃったので、これ以上の方に来ていただいております。

それから、あと行事といたしましては、主に図書館と友だちの会・秋穂が主催で行う行事を後援するという格好になっておるんですが、8月2日に、これは図書館まつりでございますが、鎌倉幸子さんの講演会を行いまして、「走れ！移動図書館」という題目で講演をいただきまして、55人の方の御来館をいただいております。

あと「南米ペルーのあれこれ」を7月に、また防災豆知識を9月に、ビブリオバトルin秋穂を10月に、「美術館の裏側で」を11月に、それから台湾フレンドシップ滞在記を3月に行っており、書いているとおり多くの来館をいただきました。

それから、広報活動といたしましては、地域情報誌「あいお」というのがありますが、これ1ページ割いていただきまして、毎月図書館の宣伝をさせていただきます。

それから、図書館だよりは毎月発行ということでございます。

それから、27年度の予定といたしまして、蔵書点検を6月に、例年どおり行

	っていく予定にしております。 また、「好きなおはなしの絵」の展示、これも例年どおり、6月から同じ年の秋にかけて行っていく予定にしております。 また、「よちよちだっこのおはなし会」、「わくわくおはなし会」も例年どおり、毎月2回ほど行ってまいります。 それから、職場体験・インターシップの受け入れも行っていく予定にしております。 ここで、行事といたしまして、図書館まつりを例年どおり、8月の第1土曜日ということで、8月1日に行ってまいります。 また、ことは秋穂図書館開館5周年ということで、記念行事を図書館まつりと、それ前後に合わせていろいろと行ってまいりたいと思っております。 また、各種行事につきましては、図書館と友だちの会・秋穂のお手伝いという格好になりますが、共催という格好でやっていきたいと思っております。 広報活動につきましては、地域情報誌「あいお」に従来どおり、1ページ割いていただいて掲載させていただきたいと思っておりますし、図書館だよりも毎月発行してまいりたいというふうに思っております。 以上です。 ○事務局（阿知須図書館長） では、阿知須図書館より御説明いたします。 図書館管理運営業務につきましては、蔵書点検を昨年10月に実施しております。先ほどちょっと事務局のほうからの御説明がありましたように、システム改修にあわせて蔵書点検を開催しております。 子ども読書活動につきましては、「好きなおはなしの絵展示」を7月、8月に、ほぼ2カ月にわたりまして展示ロビーを使って行っております。 それと、ボランティアによる「おはなしきらきらさんのおはなし会」を毎月第3土曜日にお話をして、151名の方の御参加をいただいております。 クリスマス上映会、DVDの上映会を12月に2回ほど行っておりまして、35名の方に参加していただいております。 学校図書館支援事業といたしましては、中学生の職場体験受け入れということで、川西中学校、阿知須中学校、それと宇部から東岐波の中学校、8名の方の受け入れをしております。 行事につきましては、11月3日にきらら館まつりということで、人形劇、アートバルーン、上映会、本のリレー市などを開催しております。801名の御参加がございました。 それと、7月には七夕かざりということで、125名と書いてございますが、これは短冊の数が125枚でございましたので、それを入れております。 それと、山口市立阿知須図書館ボランティア会議、9月に開催しておりますけど、これに関しましては、主にはきらら館まつりに関する事業内容等の説明並び
--	--

にボランティアさんの御協力をいただくためのお願いをいたしたところでございます。

山口市立阿知須図書館連絡会議、これにつきましては各、井関小学校、阿知須小学校、阿知須中学校の図書館担当の先生方をお招きして、阿知須図書館との連携を密にしていこうということで、いろんな意見をいただいております。こういった本が欲しいとか、もっとこうしてほしいという各学校からの御要望等をいただきながら図書館運営をいたしているところでございます。

広報活動につきましては、毎月図書館だよりを発行いたしました。

以上が26年度の事業でございます。

27年度事業につきましては、管理運営業務につきましては26年度と同様、10月に蔵書点検を行う予定にしております。

それと、同じく子ども読書活動推進事業につきましては、「好きなおはなしの絵展示」ということで、これを7月、8月の2カ月間にわたりまして開催する予定にしております。

それと、ボランティアによる「きらきらのおはなし会」を毎月第3土曜日に開催するようにお願いしております。

それと、クリスマスであるとか、いろいろな時期に応じまして上映会を開催する予定にしております。

学校図書館支援事業といたしましては、職場体験・インターシップの受け入れをどんどん進めていこうというふうに考えております。

行事につきましては、例年どおり11月3日に、きらら館まつりを開催していきたいと思っております。

広報活動につきましては、図書館だよりを毎月発行していく予定にしておりますが、本年度は少し変えまして、図書館だよりについては毎月発行するのは間違いないのですが、阿知須地区においては地域交流センターのほうで「ほっとふる」という広報紙がございます。これが各戸配布になっておりますので、そちらのほうに職員が薦める新刊図書案内という形で、できるだけ多くの方に図書館に親しんでいただこうということで、そちらのほうも広報活動をしていきたいと考えております。

それと、阿知須地区では独自に一般の市民の方に親しみをもって来館していただけるようにということで、展示ロビーを開放しております。絵画展であるとか、スケッチ展、写真展、それらの展示コーナーを設けまして、広く市民の方に来館していただけるように工夫してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○事務局（徳地図書館長）

それでは、26年度徳地図書館の事業、行事の説明をいたします。

まず、管理運営業務につきましては、26年度中、懸案であった雨漏り対策、それから空調機器の故障に対して、屋根改修工事及び空調機の更新を行いました。

この改修工事にあわせて従前より未使用のままであった旧視聴覚室を改修し、多目的室として利用できるようにいたしました。実施にあたっては工事による臨時閉館は行わないよう。工程調整を十分に行いました。結果的に来館者の方に大変厳し利用環境で利用していただくことにはなりましたが、閉館はしなくて済みました。

それから、AEDの操作研修ですが、これは特に館の中にAEDが設置されており、来館者が高齢者の方が多いということで、せっかく設置してあるものだから、いざとなったら使えなくてはいけないということで、職員のAEDの操作研修を実施いたしましたところです。

以下にお示ししております諸行事につきましては、徳地図書館では大きく2つの目標を掲げております。1つは「読書活動の推進」、もう一つは「図書館活用能力の育成」でございます。

まず「読書活動の推進」につきましては、具体的な手立ての一つとして、「話す」ということではないかと考えております。そのため「語りかけ」ということをテーマとして、おはなし会、さらには10月12日にストーリーテリングの会を開きました。これについては実行団体として、地元の「おいしいおかゆの会」になっていただいて、御協力いただいて開催した経緯がございます。

もう一つの課題、「図書館活用能力の育成」につきましては、中高生の職場体験の受け入れを行いました。これは従前は中学校だけだったのですが、高校生のほうにも声をかけて参加をしていただきました。

また、あわせて公共図書館とは何かということを小学校に説明するというところで、小学校への見学会や「探検隊」と銘打って、夏休み中に図書館体験を開催いたしました。

広報活動については、図書館員の「好きなおはなしの絵」の展示を行いました。これは図書館まつりの時期に合わせて実施いたしましたが、去年は「本のしるべ」というお薦め本の形態をとっていました。今回は別の手法でのおすすめ本の薦め方を示したものです。26年度の事業は以上です。

27年度は、基本的には前年の事業を引き続き継承していくというスタンスをとっています。特に、先ほども言いました「話す」ということ、これは実際には、なかなか難しいことです。職員にも利用者に対する「声かけ」ととともに、図書館の本分は利用者と情報を結びつけることですので、ともかくレファレンスを受けるときにも、レファレンスクエスチョンを重ねていこうという話をしているのですが、なかなかこれができません。ですが「話す」ということを一つの大きな課題として、今年度は取り組んでいきたいと考えております。その意味で、今年から月に2回の「おはなし会」については、これは輪番制として、全ての職員がこの「おはなし会」を実施しているところです。4月は既に2回を終えたところですが、子供たち15人の参加を得て実施しております。

さらに、今年もストーリーテリング講座を「おかゆの会」さんの協力を得て実

施していこうと思います。

これに加えて、レファレンスの充実など、「話す」ということをキーワードにして新年度の事業を進めていけたらと考えています。以上です。

○事務局（阿東図書館長）

最後になります。阿東図書館の26年度の実績を説明いたします。

子ども読書活動推進事業ですが、これにつきましては各地区の読み聞かせ団体が自主的に実施をしております。地域交流センターなり、分館等がありますので、そちらのほうで対応しております。直接図書館としては、かかわっておりません。

それから、職場体験につきましては、3人。

図書館まつりは8月の2日に実施し、参加者674人です。一番人気がありましたのが、阿東和牛入りカレーでして、8月2日ということで、先着82名にカレーを食べていただくということがあったのですが、要望がありまして、急遽約100人に食べていただいております。

それから、DVDの上映会を毎月やっております、子供向け、大人向け、大野先生の地元の作品を上映会しております。

それから、次に行事の関係ですけども、読書グループの意見交換会と、その下にあります高齢者の読み聞かせ施設との協議ということであります。阿東地区につきましては、65歳以上が49.6%、70歳以上が39.4%になりまして、今から高齢者に対する図書館サービスを充実していかなければいけないんじゃないかと思っております。読書グループの方、高齢者のデイサービスセンターがありますけども、そちらのほうに読み聞かせに行けないかと打診いたしました。

それから、施設につきましてはデイサービスセンター等、地区内に4カ所ありますけれども、こちらのほうと協議をいたしました。

それから、広報活動ですけど、図書館だよりということで毎月発行しておりますが、阿東図書館が開館するときに、津和野の住民の方も利用できるということがありましたので、津和野町立図書館に図書館だよりを掲示していただくことにしました。それから徳佐上に願成寺温泉というところがありますが、そちらのほうにも、また図書館だよりを掲示していくことになりました。

続きまして、27年度の予定ということで上げております。

蔵書点検は、26年度は12月に実施しましたが、12月は休みが多いので、ぜひ1か月前にしてほしいという要望がありましたので、一月繰り上げて27年11月に実施したいと考えております。

「好きなおはなしの絵」の展示と、職場体験につきましても、現在、中学校から要望がありました。

図書館まつりにつきましては、平成25年の開館が8月4日でありましたので、第1土曜日に、それにあわせて実施いたします。

DVD上映会ですが、毎月第4土曜日を予定しております。9月につきましては、高齢者向けのDVD作品の上映を実施したいと思います。

図書館だよりにつきましては、毎月発行する予定でございます。以上でございます。

○会長

どうもありがとうございました。まずは、委員の皆さんに御報告いただいたことに対して御質問いただきましたのですが、はいどうぞ。

○委員

各館がいろいろな企画をされているのがわかったのですが、6 ページで中央図書館がやまぐち歴史講座で大変多くの方が参加されているのですが、これがどのぐらいの新規登録者の開拓等につながったのかなと考えたときに、何かその場で手だてを講じられたのでしょうか。

○会長

そのあたりについてはどうでしょうか。

○事務局

本企画については新規登録についてのデータはとっていなかったのですが、実は貸出しが前年度の同月と比較をして減ってきておりましたが、この企画を行った月は貸出しがふえておりますので、市民の読書推進については大いに成果があったのかなと思っております。

○会長

それでよろしいでしょうか。

○委員

はい、いいです。

○会長

次の委員の方、どうぞ質問してください。

○委員

それぞれ地域館ですごく特色のある取組みをされている中で一番私が関心を持ったのは、阿知須図書館の井関小と阿知須小、中との阿知須図書館の連絡会議の取り組みですが、他の図書館の取組みを知ることとはすごく大事なことだと思っていますので、子ども読書推進計画や移動図書館サービスの充実を考えると、ほかの図書館もそういう取組みをされたりする御予定があるのかどうか、お伺いしたいと思います。

○会長

中央図書館はいかがでしょうか、そういう学校等との連携に取り組むということです。

○事務局

中央図書館では、全ての図書館の総括をしておりますので、今回この4月からなんですけれども、学校教育課の学校図書館指導員部会を担当していらっしゃる先生と情報共有を図るということで、個別に毎月時間をとって情報交換をすることとしております。

また、学校図書館指導員の研修会等々にも参加させていただいて、現場の声を吸い上げていこうと考えております。

○会長

小郡図書館はいかがでしょうか。

○事務局（小郡図書館長）

現状では関係はございませんが、また学校の御意向をお聞きしてまいりたいと考えております。

○会長

秋穂図書館はいかがでしょうか。

○事務局（秋穂図書館長）

小郡図書館と同じような関係であります。

○会長

徳地図書館はいかがでしょうか。

○事務局（徳地図書館長）

すぐ隣に中央小学校があり、当館の主な利用者ですが、利用者の方は小学校が中心ですので、中央だけじゃなくて、離れているのですが、学校を中心に連絡を取り合っている状態です。

○会長

阿東図書館はいかがでしょうか。

○事務局（阿東図書館長）

阿東地域内には2つ中学校があるのですが、3月にその図書委員の皆さんと意見交換を実施いたしました。4月に入りまして、学校のほうから子どもが好きそうな本とか、そういう要望がありましたので、それを今分類しております。

○会長

はい、ありがとうございます。それでは、ほかの質問をお願いいたします。

○委員

資料3ページの学校支援団体貸出用図書館購入冊数、昨年が減っており、つまり前年度から見ると、全然新しい本が買われていないというような傾向が見えるのですが、これはどうなのでしょう。これはもう頭打ち、予算がなかった、それともこの種類で十分だということでしょうか。どういう事情か教えていただけますでしょうか。

○事務局

これについては予算的に26年度予算では、資料費がぐっと下がっておりますが、これは学校図書館支援用の図書が充実してきたということがございます。

ただ、当然これは新鮮さを保つための資料の購入は続けておりますので、サービスの低下にはすぐにはつながらないと考えております。

○委員

はい、わかりました。それと関連して1つだけ質問ですが、前年度の一つの計

画であったと思うのですが、高齢者に対応した形での、いわゆる老人ホームとかへの団体貸出し、あるいはデジタル化の中でのオンデマンドの配信とか、今度の計画はどのようにその後変わっているか、あるいは同じなのか、また、新しいことがあれば教えていただきたいと思います。

○事務局

現在ではまだ具体的には進んでいるところはありません。デジタル化に関しては、今年度どうするのかということを具体的に検討することにしておりますし、高齢者向けの点についても、今年度の重点事項に上げておりますので、その中で具体化していくことになるのかと思います。

○委員

はい、わかりました。

○会長

次の委員からお願いします。

○委員

3ページの資料でお尋ねしますが、日本一 本を読むまちとありますが、この中でどの項目が一番伸びればいいのでしょうか。市民1人当たり貸出点数が一番多くなればいいのでしょうか。そうすると、昨年度が7.49とありますが、日本一となるためには、どれだけになればいいのでしょうか。

○会長

はい、お願いします。

○事務局

市民1人当たり貸出点数を、資料の7.49点を約7.5点ということで、外部には配信いたします。25年度7.5点、26年度7.5点と横ばいでございます。

お手元のサービス計画では、日本一を目指す目標として、中核市で最上位を目指すというように計画いたしております。7.5点は、最新の統計では中核市42市の中では5位に相当いたします。今トップは9点を少し下回っておりますので、9点あれば1位となりますが、図書館サービス計画では10点を目標にいたしまして事業を進めているところでございます。

○委員

はい、わかりました。

○会長

指標の件は、図書館サービス計画の29ページにありますので、また見ていただければと思います。ほかには何か御質問ありますか。はい、お願いいたします。

○委員

本の読み聞かせはどこの図書館でもありますが、行ってみますと、小郡図書館が毎週水曜日で15時40分からというようになっているのですが、やっぱり読み聞かせといたら結構小さい子供が多いと思うのですが、小郡図書館でこうされてるということは、水曜日、子供たちが早く帰る、そうすると、小学生の子供

も読み聞かせに参加しているかどうかということをお尋ねしたいのですが。

○事務局（小郡図書館長）

大変申しわけありませんが、実態として把握していないので、今ここでいうようなお答えはできません。申しわけございません。

○委員

たくさん、もし来ているのだったら、ほかの図書館もそういうふうになると、小学生もともに読み聞かせに参加できるのではないかなと思いました。

○会長

昨年度のことだということで、これはまた教えていただくことということでお願いします。

○委員

質問ではないんですけど、今の委員さんの関連です。

○会長

はいどうぞ。

○委員

秋穂は、実は27年度の未就園児向けの話は第1と第3木曜日に変更いたしております。というのが、ほかにもう二回、お話のグループが自主的にやっているのも全部水曜日なのですね。そうすると、保育園の園解放と重なったりして、ちょうど境目の子供たちが来れないということで、図書館をずらしました。ちょうど、図書館自体も水曜日は配本車が来るのでとても忙しく、司書さんが大変なので木曜日にずらしました。

それと、図書館では未就園児向けですけど、あとお話玉手箱というグループは、小学校には毎週入ってますので、小学生はなかなか図書館に夕方ぎりぎりになると、来れないというか、下校時間との関係もありますので、学校へ入っております。

○会長

はい、ありがとうございました。それでは、質問の項目も含めて、その他日ごろ思っていच्छやること等の御意見とか御感想とか、何でも結構です。自由にお願いしたいと思います。

○委員

小中学校、幼稚園への配本の件なのですが、山口市立ということで、市立の小中学校、また幼稚園には行っていच्छやと思うのですが、少し気になるのが県立の支援学校がありますよね。それが市内に3カ所と、あと山大附属の支援学校があると思うのですが、市立の小学校を卒業して、県立の支援学校に通っている生徒さんがいच्छやと思うので、なかなか県立の施設に入っていくということは難しいかもしれないのですが、ぜひ県立の支援学校への配本サービスも考えていただけたらなと思っています。

○会長

これは御検討いただくということによろしいでしょうか。

○委員

はい。

○会長

ほかに何かございますでしょうか。どうぞ。

○委員

隣接する施設との連携についてですが、例えば中央図書館については、Y C A Mと隣り合っていますので、デジタル資料の収集をするときに、例えばスタジオ Cで上映された映画についてDVDを収集するとかです。上映会を見逃したから見たいときに、市内のビデオレンタル屋さんに行くという話ではなくて、せっかく同じ施設内で上映しているのであれば、できれば市立図書館にあったいいという話です。せっかく収集されるのであれば、そういった連携とか、関連性を持たせるような収集をされたらいいのではと思ったのです。そういう何かしらの関連性があるといいのかなと思ったりしています。

○会長

実際行っておられるかもしれませんが、まだでしたら御検討をして下さいということぐらいでよろしいでしょうか。

○委員

はい。

○会長

他に何かお聞きしたいことがありますか。どうぞお願いします。

○委員

お願いなのですが、こんなに行事やっつけていかれるのはすごく大変だろうと思うのですが、もちろん主なところは正規の職員の方が入っておられるというのは、最初の2ページの組織図とかでわかるのですが、こちらにたくさんの非常勤の方がいらっしゃいますし、この中央館だけではなくて、地域館の職員の方も含めて、全部正規化にしてくれとか、そういうことを言っているわけではなくて、研修もきちんとするということです。それもきちんと目標の中に入っていたので、一つ安心はしたのですが、山口市の職員の方ではないのですが、私、友の会にいますので、非正規の職員の方と話すことが結構多くて、なかなか研修に行こうと思っても、それが行きにくいとかチャンスがないとか、もし友の会で何があったら連絡して下さいという話が結構聞こえてきますので、何かそういう非正規の方の研修ということを当然考えておられると思うのですが、やっぱりモチベーションを上げてあげないと、非正規だから、決まった時間帯にやればいいよというようにしていると、本当に、レファレンスのインタビューというようなことがあっても、モチベーションがある人となない人では大分違うと思いますので、何かそういうようなときに、うまくできるといいなというように思っているわけなのです。

中央館の職員の方も結構長い方もおられるので、当然その地域館の職員の方に指導できるような方もたくさんいらっしゃると思いますので、県立図書館の研修の機会もあるでしょうけれど、それだと、仕事を休んでいけないといけないということもありますので、館内での研修システムみたいなものというのがあればいいなと思っています。そういうお願いです。

○会長

これもされているというようなものがあればお願いします。

○事務局

大変有用なお話をお聞きいたしました。また内部研修の充実については行ってまいりたいと思っております。昨年度は接遇研修という形で外部講習を招きまして、中央図書館で研修会を行ったりとか、今まで正規の職員が参加していた研修、県立図書館の研修等にも地域館含めて、臨時、嘱託職員も参加したい人については手挙げ方式に変えるとか、本年度からそういうようなモチベーションを上げるような取り組みを行っております。先ほど委員さんからいただきました御意見につきましては、また内部で十分に検討していきたいと思っております。

○会長

また、この実績というか、27年度末の3月の協議会のときにもでも御報告いただければと思います。

○委員

今の委員が言われたことに、私も同意見です。正規の方がいない図書館の嘱託とかいうと、勤務日数の制限もあり、何か余裕がないようです。研修に参加したくても行けないとか、自主的に参加するにしても時間的、経済的な余裕がないと行けないので、そういう面のフォローをしていただけるといいです。

秋穂図書館では、私たちの会で結構、いろんなことを提案してますし、一緒にやりましょうなんて言っておりますが、本当は図書館主体のものが出てくるとうれしいなと思い、時々投げかけもしております。

しかし実態を見ていると、厳しいのかなと思っております。ぜひ職員の体制とか、研修を組み込めるような職員体制にするとか、もし常時職員のアップが無理なら、何か誘導隊みたいなベテランの人を置いていただけたらいいのかなと思っております。職員の方が本気でないと、図書館の実際の地域の人に対する働きかけというのはなかなかうまくいかないのかなということを感じています。

○会長

次の委員さん、いかがですか。

○委員

子ども読書活動の推進に関してですが、私の勝手な思いですが、このたびゴールデンウィークとかあって、長いお休みのときに図書館がほとんどお休みだったのですよね。

何日かあいていれば、親子で図書館に行って、長いお休みだから、何冊か読め

るから、年末年始のお休みとかゴールデンウィークとか、そういうときは少し何日かあけてほしいなと思います。

○会長

これも職員体制の問題があるかもしれませんが、この辺もまた御検討いただきたいと思います。まずは、今年度から5月5日が、全館あいたということですよ。これが一つの突破口だと思いますので、またこの辺のどこまであけることができるかということもあるかなと思いますので、御検討をいただきたいと思います。 続いて、次の委員さんどうぞ。

○委員

図書館に限らないで、今は協議会がすごく多いのですよ。私が知る範囲では協議会が、ああして下さいこうして下さい、と要求組織になっているそうなのです。ここもそうなのだけれど、その中の0.1%でも、図書館を理解する、サポートすることで、時にはぼつぼつやったらどうでしょうか。あまりに要求ばかりです。理解者になるという協議会にもしてほしいという、いろいろな協議会を主催される側からの声が結構あります。

そういうことで、我々が敵でもないけど、時には味方になるみたいなところですよ。余り強く要求ばかりすると、市町村だって、その辺受ける側も大変なところもあるようでございますから、そんな所も少しどうかということでございます。

○会長

どうもありがとうございます。図書館友の会の方もこの中にいますので、もう既に支えている人ばかりの集まりの部分があるのかなという意味からも、図書館が利用者のためによりよくなるというところで声を上げさせていただいているという次第でございます。では、次の委員さんどうぞ。

○委員

昨年、山口市中学校の図書館部会の夏休みの研修会に、中央図書館の方が来て下さって、我々教員と一緒に研修をされたことがありました。日頃こんなこととは思いうようなことを聞いたりすることができて、とてもうれしかったので、改めて何かと言われると難しいのですが、そういうように一緒に活動して下さる時間が今年もあるとうれしいなと思っています。

○会長

ありがとうございました。それでは、次の委員からどうぞ。

○委員

今回だと、この2月になると思うのですけれども、小学校の読書感想画の絵と入賞作品の展示を中央図書館でさせていただいて、何年か前までは会場を転々としていたのですが、図書館を会場にさせていただいて、少しは利用者の増加につながったのかな、というところが一つあって、また今後もそういうことをお願いできたらいいなということが一点です。

あと、調べ学習のための資料が不足していますということが書いてあったのですが、市内の小学校が使っている教科書というのはどこも会社が同じということで、調べたい時期、利用したいといえ、どうしても重なってくると思うので、そこらあたりが一応県立図書館とも関係するのですが、学校のそれぞれの要望がうまく具合にいくといいなと。だからといって同じものがたくさんあっても仕方がないともちろん思いますし、教科書も変われば内容も変わって、また利用したい図書も変わってくるので、そのあたりのところがうまく折り合いがつけばいいなと思っております。またいろいろよろしくお願いします。

○会長

ありがとうございました。次の委員からどうぞ。

○委員

各館の報告の中で、DVDの上映会の所で、中央図書館は、上映会は1回で14人、それから一般向けの上映会では1回で25人とありますが、阿東図書館では、1回で26人にもなるということは、非常にいい傾向だなと思っております。

○会長

ありがとうございます。次の委員さんどうぞ。

○委員

先ほど別の委員が言われたのですが、本当今回ゴールデンウィークが長い中で、5日に図書館が開館していたので、本当うれしかったし、私も行ったのですが、年末年始とかも、そういうように開けていただければいいなと思いました。

○会長

これも職員体制問題とか、いろいろあるかとは思いますが、次の委員からいかがでしょうか。

○委員

いろいろとお話を伺っておりまして、ほんの思いつき程度で、いい方法があったらいいのになというところでお話をしているわけですが、そういう中で、おいおいいろいろな意見を述べていきたいと思っております。

先ほど職員の研修、確かに年齢にもよるでしょうが、スキルアップも兼ねた中で非常に大事だと思いますので、図書館がブラック企業にならないように、それを含めてお願いしていきたいと思っております。

○会長

どうもありがとうございました。ここに参加している者は、いろいろ言わせていただいておりますが、ただ、これは、心はとても温かくて、ぜひ誰にでも愛される図書館になっていただきたいという心を込めて言わせていただいているつもりですので、また今後も皆さんに、御発言いただける機会を設けたいと思っております。

次回はもう少し自由に御発言がいただける時間をもてればなと思っております。

	それでは、事務局にお返しいたします。事務局、何かございますでしょうか。 ○事務局 この協議会については、定例会としては年に3回予定しております。今年度については、今度は10月、その次は3月を予定しております。臨時に諮問事項が出た場合は、途中でお集まりいただくことをお願いすることもあるかもしれませんので、御了承ください。以上でございます。 ○事務局 それと、事務局から御報告なのですが、小中学校の校長先生の御協力を得まして、各学校長を通した子どもたちの利用登録の取組みのお願い、いう文書が子どもたちの家庭に届きます。 現在、小学生の登録率が6割強、中学生は9割近くいっているのですが、図書館が遠かったり、登録に行く機会がない子どももいらっしゃいますので、学校で一応登録カードの申込書を取りまとめて、学校から近い図書館に出していただいて、その後、利用カードが出来ましたら、図書館から校長にお届けし、学校からそれぞれ子どもたちに配ってもらうという取組みをやってみようと思っております。以上、報告でございます。 ○事務局（中央図書館長） 本日は、たいへんお忙しい中を御出席いただきましてありがとうございます。27年度の第1回目の協議会ということで、いろいろな御報告が時間をとりまして申しわけなかったのですが、皆さんにはこういうふうに思っているということは忌憚のない御意見として拝聴いたします。 できないということは、また図書館で検討させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。 臨時、嘱託が中央図書館では三十数名おります。実は正規の職員も含めて、スキルアップをどうしていくかということを去年からテーマとして思っておりまして、そういう中でここに中央図書館組織図ということでお示しさせていただいてるとおりに各担当制を引いて、担当が責任を持って職務を遂行すると、それから研修等についても、正規の職員がそういうスキルアップをした中で、嘱託、臨時の方に研修ができるようにというような体制をとろうとしております。今後、一步一步そういう良い体制にしていければなと思っておりますので、どうぞ御協力の程よろしくお願いをいたします。本日はどうもありがとうございました。
	山口市立中央図書館 TEL 083-901-1040